

考古学研究会関西例会

第 256 回研究会のご案内

立秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、考古学研究会関西例会では、第256回研究会（奈良例会）を下記の要領で開催いたします。今回の内容は古墳時代の銅鏡や弥生時代の集落遺跡に関する研究・調査報告です。奮ってご参加のほど、よろしくお願い申し上げます。

日 時：令和8(2026)年 9月 26 日(土)13:30～17:00

会 場：奈良市北部会館市民文化ホール3階 会議室2・3

(〒631-0805 奈良市右京一丁目1番地の4)

交 通：近鉄京都線高の原駅から南へ徒歩5分

資料代：会員様300円、非会員様500円

題 目：○研究報告：小林 青樹 氏（奈良大学）

「出現期古墳出土三角縁神獣鏡を被覆した布帛の問題

－魏国系・大和中枢系布の同定と配布・副葬原理－」

○調査報告：白石 哲也 氏(山形大学)

小澤 麻帆 氏(立命館大学)

藤田 三郎 氏(田原本町埋蔵文化財センター)

「唐古・鍵遺跡と気候変動：129次及び130次調査の調査報告」

